交換留学帰国報告書

記入｜2025 年 8 月
所属＆学年｜経済学部 4 年
卒業予定｜2026 年 3 月

留学先大学	ウォリック大学
留学先国	イギリス
留学期間	約 6 ヶ月　（4 年次に留学）
留学開始－終了	2024 年　9 月　22 日　－　2025 年　3 月　19 日

A．留学に至った経緯や留学準備について

①留学する大学や国、プログラムを決めた理由を教えてください。

英語圏であり、教育水準が高く多様な文化を持つイギリスに魅力を感じた。中でもウォリック大学は、経済学分野で高い評価を受けており、学問的な挑戦ができる環境だと考えた。また、語学力を高めると同時に、関心のあったイギリス文化を実際に体験できる点にも惹かれた。

②留学を志したきっかけや経緯、動機などについて教えてください。

英語力の向上に加え、アジア圏とは異なる文化や価値観に触れ、視野を広げたいと考えた。また、日本とは異なる教育スタイルで経済を学ぶことで、新たな学びの機会になると考えた。名古屋大学で HELPDESK に関わる中で、交換留学制度についての知識が自然と深まり、留学への関心が強まっていった。

③留学前の海外渡航経験があれば教えてください。

渡航先	渡航時の学年	目的＆期間など
日本	1	名古屋大学への正規留学

④実際に留学準備を始めたのは応募した時期からどのぐらい前でしたか？

3 年生の頃に一度留学に興味を持ち、留学室に相談したうえで TOEFL を受験した。その後、4 年生になって再び留学を決意し、募集開始の約 2 週間前に改めて留学室を訪れ、志願を行った。

⑤海外留学室での相談内容、参考になったことなどを教えてください。

どの大学が自分の関心と語学力に合っているかについて相談に乗ってもらった。募集時期や志願書類の準備方法などについても詳しく説明してもらい、安心して準備を進めることができた。

B．留学前の語学対策や単位などについて

①留学前の語学対策、TOEFL などの受験回数などについて教えてください。

高校生の頃に一度 TOEFL を受験した経験があったため、特別な対策は行わなかった。
3 年生の時に受験し、1 回で必要なスコアを満たしたため、それ以降の受験は行っていない。

②単位取得、単位互換、教職履修などに関してのアドバイスをお願いします。

4 年生の後期に交換留学を行い、4 年生 9 月から 5 年生 3 月まで現地で学んだ。帰国後は 5 年生前期に休学し、後期に復学した。留学前に卒業論文を除いた卒業要件単位をすでに取得していたため、現地で履修した科目については単位互換を申請しなかった。
名古屋大学経済学部では、カリキュラムの重複がある授業については単位互換が可能と聞いているが、私はその必要がなかったため、あえて名古屋大学にはない授業を自分の関心に沿って選択した。結果として、興味のある分野を自由に学ぶことができ、より充実した学習経験となった。

C. 授業や勉強について

①留学先で履修した科目と科目コード（例：MKG 2022 Introduction to Marketing）、時間数、形態、授業の内容、履修方法、などについて教えて下さい。

以下の経済学部科目を履修した：
EC104 The World Economy: History and Theory
EC208 Industrial Economics 1: Market Structure
EC230 Economics of Money and Banking
EC231 Industrial Economics 1: Strategic Behaviour
EC334 Topics in Financial Economics: Corporate Finance and Markets Lecture
EC345 Behavioural Economics: Theory and Applications

経済学部の各授業は基本的に週2回（1回60分）の講義と、隔週で1回（60分）のセミナーで構成されている。セミナーの内容は授業ごとに異なるが、講義で扱った問題の詳細な解説や、関連書籍の読解・ディスカッションなどが行われた。
履修方法としては、大学から事前に履修可能科目リストが含まれた資料が送付され、基本情報を把握することができた。履修登録および授業関連の情報管理は、「Tabula」を通じて行われ、各授業の時間割はTabula＞Timetable＞show all timetablesで確認できる。授業の資料や授業内容の録画などは「Moodle」を使用する。Moodleには直接受講したい講義を検索し追加できる講義もあり、もし追加できない場合は、メールすると良い。
授業開始から 2 週間は履修変更が認められており、私は初回の授業を受講した上で、実際に履修する科目を決定した。また、1 年間の正規留学ではない場合、評価方法が一部異なる場合もあり、注意が必要であった。レポートの場合は、Tabula に提出し、テストは対面で行われた。テストの場合、個人のバーコードを教務課から事前にもらう必要があり、案内のメールが来る。

②授業を受けるにあたって心掛けていたこと、努力や工夫を教えてください。

名古屋大学と比較して、授業の難易度はおおむね同程度であると感じた。授業にしっかりと出席し、内容を丁寧に追っていけば、問題はないと思う。多くの講義では、録画映像が Moodle にアップロードされるため、聞き逃した部分や欠席時も復習がしやすかった。
一方、セミナーは出席が必須で録画も残らないため、必ず参加するよう心掛けた。授業内容で不明な点があった場合や理解が不十分だと感じた際は、セミナーでの質疑応答やディスカッションを積極的に活用し、理解を深めるよう努めた。

③学習面で困ったことはありましたか。どのように解決しましたか。

特になかった。

D．大学生活について教えてください。

①現地の雰囲気や大学の校風について教えてください。

全体的な雰囲気としては、日本と大きく異なる点は感じられなかった。ただし、イギリスでは学年によって成績への反映割合が異なり、特に 1 年次の成績は最終評価にほとんど影響しないため、成績をあまり重視しない学生が多い印象を受けた。実際、学年が上がるにつれて成績への意識や熱意が高まる傾向が見られた。
また、課外活動やサークル活動には非常に熱心に取り組む学生が多く、キャンパス全体が活気にあふれている印象を受けた。

②ネット環境、施設、周辺環境などハード面について教えてください。

学内のインターネット環境は安定しており、日常的な使用において大きな問題はなかった。大学の施設も非常に充実しており、学習や交流に活用できる設備が多く整っていた。ただし、学内で食事をとれる場所やや微妙だった。
キャンパス内には学生向けのバーやクラブもあり、クラブに学生証で入場するシステムが印象的であった。
周辺には「Tesco」やアジア食品を扱う「Seoul Plaza」があり、特にアジア系食材を求める学生にとっては非常に便利であった。
中心市街地へはバスで約 15～20 分程度かかり、ショッピングモールやレストランなどが充実している。ただし、夜間は治安があまり良くない地域もあるため、外出時には注意が必要である。バスの本数や間隔にも差があるため、移動時には注意が重要である。時々Google マップと一致していない場合もある。

③留学先でどのようにして現地の学生と交流を深めましたか。

経済学部の交換留学生に向けにオリエンテーションを通じて、他の留学生と知り合う機会があった。また、大学側も国際学生同士の交流を促進するイベントを多数用意しており、人と出会う場や機会は多くあったと思う。
私は以前から知り合いだった友人の勧めで、Japan Society の活動にも参加した。ここでは特に日本からの交換留学生と交流を深めることができた。
さらに、学期初めにはさまざまなサークルや団体が新入会員向けのイベントを開催するため、関心のある分野に積極的に参加することを勧めたい。また、学生寮で生活する場合、同じフラットの学生と自然に親しくなることが多く、私自身も同じフラットの友人たちとの交流を通じて現地での人間関係を築くことができた。

④余暇の過ごし方（授業後や長期休暇など）について教えてください。

平日の授業後や週末には、友人たちと近隣へ出かけたり、学生寮のシネマルームで映画を観たり、一緒に料理を作って食事を楽しんだりすることが多かった。
冬休みは約 1 か月あり、この期間を利用してヨーロッパ各国を旅行した。ヨーロッパ内は航空券の価格も日本に比べて非常に安価であり、滞在先からバーミンガム空港までのアクセスも良好だったため、気軽に多くの国を訪れることができた。

E．健康管理、保険、予防接種など

①健康管理あるいは衛生面について注意していたことはありますか。

イギリス渡航時には、フィルター付きのシャワーヘッドを持参し、アレルギー薬を含む常備薬も準備した。現地ではブリタの浄水ポットを購入し、日常的に浄水した水を飲用していた。

②留学中に病院へ通った経験の有無、医療費などについて教えて下さい。

留学中に病院を受診することはなかったが、風邪をひくことが何度かあった。特に学生の間では風邪が流行することが多く、体調管理には注意が必要であると感じた。
個人的には、市販の風邪薬を日本から多めに持参することを強く勧めたい。私は持参した薬をすべて使い切ってしまい、現地で薬を購入して服用したが、日本の薬に比べて効果が穏やかに感じられた。

③留学するにあたって、予防接種は必要でしたか。
☐はい（種類：）
☒いいえ

F.住居、食事、マナーなどについて

①留学中の滞在先について教えてください。

形態	☒寮　☐下宿　☐アパート　☐ホームステイ　☐その他（　　）
何人部屋	（　1　）人

②生活（住居、食生活、服装など）や習慣の違い（マナー、対人関係）、安全面などについて、困ったこと、気をつけていたことがあれば教えてください。

【住居】
大学側からキャンパス内の学生寮への申請案内があったが、私は定員の関係で入寮を断られた。実際、私の留学時期には交換留学生の多くが同様にキャンパス寮の入居を断られていたようである。代替として、大学側の連携先である学生向けアコモデーションから2件の候補が提示され、「Albany Student Village」を選択した。
Albanyは築1年の新しい建物で、全体的に設備が非常にきれいだった。キッチンも広く清潔で、当初は電子レンジがなかったが、Term 2から設置された。共用スペースにはビリヤードや卓球台があり、映画館、スタディルーム、ジム、コモンキッチンなども利用できる。洗濯設備もアプリで予約可能で利便性が高かった。一方で、カードキーを部屋に置いたまま外出すると入室できなくなるため注意が必要である。
通学には最寄りのバス停（徒歩10分程度）からバスを利用した。月ごとの通学回数を考慮して、学生用の1か月定期券を購入するのも一案である。Albanyの周辺には住宅街が広がっており、徒歩1分圏内にコンビニが2件あるため、夜間の買い物にも便利だった。また、Coventry駅まで徒歩15～20分で行けるため、ロンドンなど他都市や空港へのアクセスも良好であった。市中心部へも15～20分で徒歩圏内であり、利便性は非常に高かった。
なお、キャンパス寮は寮ごとに雰囲気が大きく異なるため、「Warwick Accommodation」などで検索し、YouTubeの動画などを参考にすることをおすすめする。私はAlbanyでの生活に非常に満足しており、キャンパス寮に入れなかったとしても心配しすぎる必要はないと感じた。

【食生活】
外食は高価なうえ、特別に美味しい店は少ない印象であった。そのため、外食の頻度を抑え、自炊中心の生活が現実的である。一方で、食材は意外と高くなく、果物なども比較的手頃な価格で購入できた。

買い物はCoventry駅近くのAldiや、大学周辺のTescoやSeoul Plazaを利用していた。TescoではClub Cardを登録すると割引価格で購入できるため、アプリをダウンロードして活用することをすすめたい。

【服装】
日本と大きく異なる服装をする必要はなかったが、イギリスは小雨が頻繁に降るため、雨対策はしておくと安心である。また、日本に比べて冬でも軽装の人が多い印象を受けた。

【安全面】
キャンパス内は安全であるが、コヴェントリー自体はイギリス国内でも治安があまり良くない地域の一つとされている。ヨーロッパ全体に言えることだが、街中でウィードのにおいが漂うことも多く、刃物による事件が起きた場所もある。私は夜間の単独外出は避け、外出時はできるだけ複数人で行動するよう心掛けていた。

③日本から持参するとよいもの、または持参しなくてもよかったと思うものは何でしょうか。

風邪薬など薬は日本の物を持参することをおすすめ。イギリスの薬は日本ほど強くないため、効果がそこまで出ない。また、なぜかイギリスはいつも風邪が流行っていて私自身も数回か風邪をひきました。

④参考となる留学先国の情報（出版物、web サイト）を教えてください。

私はウォリック大学に通っている友達に直接聞いた。

G.留学費用について

①留学費用や支出の管理などに関してアドバイスがあれば教えてください。

奨学金は利用せず、すべて自己負担で留学を行った。全体的にイギリスの物価は日本の約 2 倍程度と感じられたが、食料品に関しては比較的安価であった。
私自身は旅行も含めて留学生活を積極的に楽しんでいたが、支出を把握するために日々家計簿をつけていたことが大いに役立った。また、Tesco などのスーパーでは会員登録(Club Card)を行うことで割引を受けられるため、こうした制度を活用するのもおすすめである。

②奨学金は受給していましたか。
☐はい　（奨学金名：　　支給額：　　円）
☒いいえ

③差し支えない範囲で留学費用を教えてください。*内容の費目は自由に変えてください。

内容	金額	備考
渡航費	（往復）19 万円	
保険代	6.4 万円	大学推薦の保険
予防接種・ビザ代	0 円	6 ヶ月以内であったためビザ不要
住居費	月 14 万円	Alabany Student Village
食費	月 7 万円	旅行時以外
教科書代	0 円	全てオンライン資料
交通費	月 1 万円	大学への交通費など（旅行以外）
旅行費	約 50 万円	

H.今後の進路や目標、就職活動について

①卒業後の進路（進学、就職、その他）について教えてください。

□進学
☒就職
□その他（　）

②今後の進路や目標があれば教えてください。また留学の前後で、進路や目標に対しての考え方や気持ちの変化があれば教えてください。

今後は就職活動を経て、企業への就職を予定している。

③留学中に就職活動を行った方は、具体的なエントリー、一時帰国の時期、感想などを教えてください。海外留学生用の就職活動を受けた場合はそれに関する情報もお願いします。

留学中はロンドンキャリアフォーラムに参加する学生が多く見られた。私は帰国後に東京キャリアフォーラムを活用して就職活動を行った。

I.留学を終えて感じること

①留学を終えて今の率直な気持ちや感想、印象に残っていることなど教えてください。

非常に良い経験であったと感じている。学業面でも生活面でも多くの学びと成長があり、新しい友人たちと共に生活し、旅行をしながら忘れがたい思い出を作ることができた。大学生活の中でも、最も印象深い時間の一つとなった。

②留学したことで、何がどのように変わったと思いますか。

何かが劇的に変わったわけではないが、新たな経験を通して視野が広がったと感じている。自分にとっては非常に価値ある経験であった。専門分野を異なる教育方針のもとで学ぶことで、別の角度からの理解が深まり、学問的にも大きな刺激を受けた。また、語学力だけでなく、個人としての成長も実感できた。休暇中にはヨーロッパ各国を旅行し、各地の芸術や歴史に触れることで教養面でも多くの学びがあった。さまざまな国の友人と出会い、時間を共有する中で、今後の将来を考えるうえでも、より多角的な視点を持てるようになったと感じている。

③現在、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

個人的には、留学を強くおすすめしたい。海外留学室のサポートを受けながら、自分に合った大学を見つけて挑戦してみるとよいと思う。どのような形であっても、自分自身の成長につながるはずである。
もし留学に迷いがある場合は、まずは留学関連のサークルに参加して情報を集めてみるのも一つの方法である。実際の声を聞くことで、より具体的なイメージを持つことができるだろう。

◆自由記述欄◆

渡航先の大学や留学の様子がわかる写真（メール添付でも可）を下記へ、ぜひ共有してください。報告書は Web サイトや印刷物として公開するため、被写体の人物へ使用についてあらかじめ承諾を得てください。添付された写真は、すべて被写体の人物から公開承諾を得たと判断し、海外留学室の Web サイトや印刷物へ使用します。

↓↓↓

以上